

公益社団法人私立大学情報教育協会
平成 29 年度第 1 回情報セキュリティ研究講習会運営委員会議事記録

- I. 日 時：平成 29 年 4 月 27 日（木） 14：00 ～ 16：00
- II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局会議室
- III. 参加者：浜委員長、入澤委員、小川委員、根本委員、服部委員、峰内委員、西松委員、
沼委員、岡部委員（Skype）
（事務局）井端事務局長、野本（記）

IV. 委員の紹介

今年度の新委員を中心に、委員の紹介が行われた。

V. 検討事項

(1) 講習内容の指摘事項として、下記の意見があった。

- ・ 全体会は、最新動向、ベンチマークの結果、CSIRT 紹介など紹介することを考えている。
- ・ ベンチマークの対応結果から、その後はどのような状況になっているのか、予算比率の高い大学や、対応ができていない大学に追跡調査を実施してはどうか。
- ・ CSIRT などの組織的な取り組み例としては、立命館組織の紹介をしてはどうか。
- ・ 情報提供して、学内でどのように行動するのかを持ち帰れる形にできないか。
- ・ 全体及び分析コースでは、ランサムウェアの例を中心に考えることにし、その中で守るべきことなどを整理することを考えてはどうか。
- ・ 政策コースでは、教育パッケージの提案については、新人用に限定するのではなく、教職員教育用としてのパッケージと考えるかどうか。現場での創造力（危険の可能性の推測）を育成することと、何かアウトプットを持ち帰れるところまで進められないか。
- ・ 自大学の課題を認識し、解決に向けた案を持ち帰れるようなファシリテートが必要ではないか。
- ・ 総合演習では、分析コースと政策コースの参加者組合せにしていたが、各コースでの研修が生かされるのか。例えば、規模別大学でのセキュリティ対策モデルの検討などができないか。そのためには、講習の入口を整理することとして、適切なグループ分けのために事前のヒアリングができないか。
- ・ グループ分けをする場合には、前回は分散させる形にしていたが、検討を進めるためには同規模の大学で構成することも考えてはどうか。

(2) 講習会以外の対応についての意見

- ・ 講習会以外の日常的な対応としては、ポータルとしてポリシーや過去の資料を含めて提示する取り組みを考えている。
- ・ 理事長学長等会議で説明する場合には、説得するシナリオが必要となる。どのような視点でどのように意識改革するのかボトムアップでの提示ができないか。

V. 次回のスケジュール

- ・ 次回は、6 月 5 日に開催し、開催要項の検討を開始することとしている。